

1 ポイント（特に工夫した項目に○ いくつでも）

教材教具の工夫	
1 実態に合っているか？	△
2 ねらいが明確か？	○
3 興味関心を生かしているか？	△
4 シンプルで誰でも再現可能か？	○
5 一目で動作をイメージできるか？	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか？	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか？	△

3 教材教具のねらい

- ・宿題（課題）に対する意欲を高める。
- ・複数で繰り返し使用することができる。

4 改善の経緯

もともと一人の生徒用に毎日漢字プリントを宿題として出していたが、2学期に入り、他にも宿題を希望する生徒が出てきた。そのため、みんなで繰り返し使用できるシートを準備し、ノートに書きとりできるようにした。

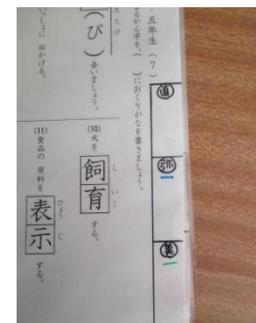
(2) 12月現在の使用例や児童生徒の様子

- ・「ぼく、もうこんなにやった（練習した）。」、「〇〇さんがやったやつ（シート）、ぼくもやる！」との反応があり、すすんで学習する態度が育ってきている。

作成者：柴田 めぐみ（高等部）

2 児童生徒の実態（個人またはグループ）

- ・漢字に興味がある。学力は小学1年生～中学1年生程度と幅広く、分野によってもムラがある。
- ・良いことも悪いことも友達に影響されやすい。友達のしていることが気になる。



改善のポイント！！

- ・繰り返し使用できる（ラミネート加工）。
- ・友達や自分の頑張りが見える（練習した回数を書きこめるようにした）。

今後の改善や使用について

- ・間違いやすい（間違いが多かった）漢字にはチェックを入れ、書き順や気を付けるポイントを書きこんでいく。
- ・バリエーションを増やす（漢字の他、計算問題、英単語など）。